たんぽぽ だより

2026.10
姶良市立加治木幼稚園
Tel:62−2502
Fax:62−2524

これからの生活につながる

加治木幼稚園長　川畑　敏彦



今年の運動会も保護者の皆さまや地域の皆さま、来賓の方々等、多くの方に参観していただき無事終了できたことを大変嬉しく思います。ありがとうございました。子供たちもこれまでの練習の成果を発揮して、自分の願いや思いを一生懸命表現することができました。

「楽しかった！」「最後まで一生懸命走ったよ！」などと、目をきらきら輝かせながら話してくれる子供たちの表情がとても素敵で、どの子も満足感いっぱいの顔をしていたのが印象的でした。運動会を通して、子供たちは大きく成長しました。私は、閉会式で「運動会でがんばったことをこれからの幼稚園の中で見せてほしい。」と話しました。

開会式や閉会式で話をする人の目を見て、しっかり聞くことができる子供は教室でも集中しようとする気持ちが育ちます。ニコニコ笑顔で楽しそうに体を動かしてダンスができる子供は自分の思いや願いを自信を持って伝えることができるようになります。大きな声で友達を応援できる子供は、人のために何かしようとする心が育ちます。他の子供たちのお手本となって活動しようとする子供は、リーダー性が育ちます。

運動会は、その日のためにだけあるのではなく、それまで積み重ねた練習や学びをその後の生活に生かすためにあります。家庭で、地域で子供たちの頑張りを認め、励まし、ほめていただくことで、子供たちは更に成長した姿を見せてくれることと思います。

近年、子供たちが身につけてほしい力の一つとして「非認知能力」があります。これは、数値で表される能力ではなく、「粘り強さ」「協調性」「我慢する力」など数値では測ることができないけれども、「心の土台となる力」と言われています。さらに、認知能力との関わりの中で、粘り強さを身につけることによって、難しい課題にもあきらめずに最後まで取り組もうとする力が身についたり、協調性を身につけることによって、他人の考えや思いを聞く力や自分の考えをより深める力が身についたりするなど、非認知能力と認知能力の相乗効果も考えられています。

運動会や様々な行事を通して、子供たちはこの「非認知能力」を学習し身につけています。しかし、この「非認知能力」は「周りの大人に大切にされている」「見てくれている人がいるから安心する」といった下支えを通して育つもので、その下支えが大切です。

家庭や地域では子供たちの「やってみよう」という意欲や興味を大切に育みながら「やればできる」という成功体験や達成感を味わわせることを大切にしてほしいと思います。

【10月の行事紹介】

＜第54回運動会＞







みんなでがんばったバルーンや親子競技！
とても楽しくできました。











お父さん、お母さんたちと一緒に
はいっポーズ！













おやじの会「綱引き」　きりん組の勝利でした。

＜稲刈り・いもほり・レタスの苗植え＞











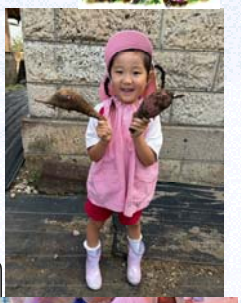
うさぎ組さんたちが田植えから育てた苗がこんなに大きくなりました！











大きなおいもがとれました！畑には虫もいっぱいいたね！











大きく育ってね！

植え方の説明をよく聞いて、やさしくやさしく苗を植えました！大きく育つようにみんなでパワーも注入しました。

